

交差点のカラー舗装化等の効果を検証しました

香川県では、平成 23 年、24 年の 2 ヶ年にわたり、人口 10 万人あたりの交通事故死者数が全国で最多となり、平成 25 年にもワースト 5 位と依然高い状態が続いています。このため、ハード・ソフトの両面で、全庁的な交通死亡事故抑止対策に取り組んでいます。

このうち、ハード面での対策の一つとしてドライバーの注意喚起を促すために「交差点のカラー舗装化」と「分かりやすい路面標示」の事故抑止対策を平成 25 年度から実施しています。平成 25 年度末までに対策が完了した箇所では、事故件数が約 45%減少しました。

1 事故抑止対策の実施状況

交差点等の事故箇所 332 箇所、各地点の事故の特徴に応じて、表 1 のように 5 種類の対策を計画し、約 4 割の 139 箇所対策が完了しました。

表 1 事故対策箇所と事故対策

対策箇所	交差点				交差点以外	合計	実施率 (%)
	交差点内カラー化		車線カラー化		分かりやすい路面標示		
事故抑止対策	路面標示	—	路面標示	—			
事故対策番号	①	②	③	④	⑤		
抽出箇所(箇所)	43	72	30	11	176	332	100.0
実施済み	23	34	5	2	75	139	41.9
未実施	20	38	25	9	104	193	58.1

(H26.3 末時点完了箇所)

2 事故抑止対策の実施状況

事故抑止対策の完了した 139 箇所での事故件数は、施工前に比べ平均で約 45%の減少が見られました(図 1)。なお、事故抑止対策完了後の事故件数は、計画時点の 4 年間の事故データ(平成 19~22 年)との比較のため、施工後に発生した事故件数を 4 年当りに換算しています。

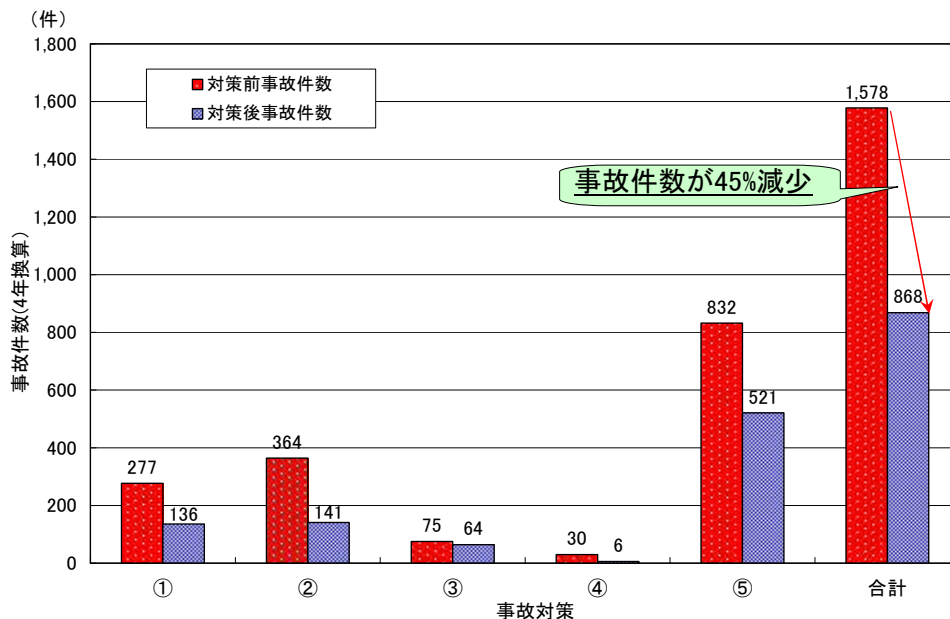


図 1 事故抑止対策毎の事故件数

※事故対策の数字は、表 1 の事故対策番号に対応

3 事故抑止対策とは

表1の事故抑止対策は、各交差点等で死傷事故件数が4件/4年以上発生した箇所に対して、図2の写真のようなものの組み合わせで、実施しています。



(a)交差点内のカラー舗装化(②) (b)車線カラー舗装化(④) (c)路面標示(⑤)

図2 交差点のカラー舗装化等の事例

※カッコ内の数字は、表1の事故対策番号に対応

4 対象となる死傷事故とは

事故抑止対策を選ぶときの事故の種類(事故類型)は、死傷事故が発生した時によく発生している、出会い頭事故、右折や左折の事故、追突事故の3つです。

これを事故箇所でも更に分類し、個別の対策を立てています。まとめると、表2のように事故の種類(事故類型)と事故箇所から、対策を決めます。

表2 事故対策の選定方法

事故箇所 事故類型	交差点内	右左折レーン	交差点以外
出会い頭事故	交差点内カラー化	—	—
右左折事故	—	車線カラー化	—
追突	路面標示	路面標示	路面標示

(表の中に「—」があるのは、事故箇所と事故類型の組合せから、対策がないことを示しています。)

5 対策で期待される効果

(1) 交差点内カラー化や車線カラー化

- ・ ドライバーが交差点の存在に気づき、自動車の速度を落とすことが期待されます。
- ・ 交差点の右折や左折の進路を明らかにすることで、急な右折等を抑えます。

(2) 分かりやすい路面標示

- ・ 交差点や直線部分で、交差点があることを「交差点注意」等の標示で、事前に知らせ、急な車線変更を抑えます。
- ・ 減速マーク(車線の内側の矢羽)と文字の標示の併用で、速度を抑えます。

お問い合わせ

香川県土木部道路課
建設・維持グループ
電話 087-832-3532